

ハローワークごとの就職支援業務報告 (令和元年度)

各ハローワークについては、ハローワークのマッチング機能に関する業務の評価・改善の取組結果に基づき、以下の4類型に評価されます。

類型1 非常に良好な成果

類型2 良好な成果

類型3 標準的な成果

類型4 成果向上のため計画的な取組が必要

ハローワーク那覇 就職支援業務報告（令和元年度）

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、求人充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要と位置づけ、労働条件緩和指導による良質求人の確保、事業所訪問時や求人受付時における正社員求人の提出勧奨（所独自資料の活用）、能動的マッチングの強化（もう1件紹介運動）、雇用保険受給者への早期再就職の勧奨を重点的に取り組みました。

雇用保険受給に伴う初回講習会や初回認定相談時には、ハローワーク支援メニューの周知や見立て求人の提案を積極的に行っています。また、待ち時間を活用して早期再就職意欲を喚起する所独自資料を配布するなど取り組んでいます。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、キャリア・コンサルタント資格取得を勧奨しています。また、労働基準監督官を講師とした労働法の知識取得に関する研修や求職者向け「求職活動マインドセミナー」を活用し職業相談スキル向上に関する研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人材確保分野（福祉（介護・看護・保育）、建設、警備、運輸、宿泊）の求人者が、人材を円滑に確保できるようにするため、求職者に対し、求人・事業内容について直接説明できる機会として「日替わりミニ企業説明会」を開催しています。また、求職者へ求人・事業内容をさらに詳しく理解してもらうため、沖縄県キャリアセンターと共催で「Live Café（事業所求人説明会）」を開催するなど求人充足サービスを強化しました。

こちらの取り組みについては、求人者からの申し込みも多く、また求職者も積極的に当該説明会に参加しており、人材確保分野の仕事理解及びイメージアップにも役立っており、求人者における人材確保に向けての効果的なPRの機会となっています。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

① 新型コロナの影響による管内労働市場の急激に落ち込みにより、解雇等で離職を余儀なくされる求職者が大幅に増加していること、また、企業における採用活動の縮小に伴い求人数が大幅に減少していることにより、これまで高水準であった求人倍率は急速に低下し、求人数が求職者数に対し大幅に少ない状況となっています。このような状況下において、求職者がより円滑に就職活動を行うにあつ

ては、十分な求人数の確保が重要であり、今後においては求職者が応募できる求人を確保するため、求人開拓を積極的に実施していきます。

- ② 新型コロナの影響により、生活基盤の脆弱なひとり親及び生活困窮者への就職支援が急務となっています。これらの方々に対しては、生活から就職までの支援を並行して実施することが重要であることから、沖縄県とハローワークが、生活から就職までの支援を一体的に実施する施設「グッジョブセンターおきなわ」での支援を強化していきます。入居している関係機関と連携したチーム支援を実施するほか、地方公共団体等での出張相談等の実施により、支援が必要な求職者の掘り起しにも積極的に取り組んでいきます。
- ③ 新型コロナの影響により、管内主要産業である観光関連産業が大きな打撃を受け、今後の先行きが見通せない企業も多い中、これら観光関連産業への就職を希望する求職者の就職活動は大変厳しい状況となっていることから、今後においては、個別求人開拓の実施のほか、職務の棚卸しによる自己理解の促進、公的職業訓練等による技能習得等、新たな職種での再就職の可能性も含め、求職者に対しマンツーマンでの個別就職支援を積極的に実施していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

新型コロナの影響により、管内労働市場の急激な落ち込みが影響し、解雇等で離職を余儀なくされた求職者が大幅に増加しています。このような境遇に置かれているの方々については、先行きが見通せず、今後の生活に大きな不安を抱えている方も多くいます。このような状況下においてハローワーク那覇においては、職員ひとり一人のマッチング技能向上を図り、求職者ひとり一人の状況に応じた就職支援の実施により安定した就職を実現できるよう、公共の就職支援機関としての役割を最大限に発揮していきます。

2. 総合評価 (※)

良好な成果

※業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. 特記事項

ハローワーク那覇においては、地方自治体と一体となった包括的な連携による雇用対策の推進を目的に締結した「浦添市との雇用対策協定」に基づき、毎年、その時期のニーズに即したテーマを設定のうえ、浦添市とハローワークによる連携した雇用施策を展開しているところです。令和元年度においては、浦添市内の企業における人材不足が顕在化していたことから、企業におけるシニア世代活用による人材不足の解消とシニア世代の就職促進をテーマに、市内企業を対象としたシニア世代の積極的な採用・活用を啓発するための「シニア世代採用セミナー」を開催し、また、働く場を求めているシニア世代の求職者に対しては、企業と求職者のマッチングの場として「シニアのための仕事相談・面接会」を開催しました。今後も引き続き、浦添市と連携し、その時期のニーズに対応した雇用施策を積極的に実施していきます。

4. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	求人に対 する紹介 率	求職者に 対する紹 介率	生活保護 受給者等 の就職件 数	障害者の 就職件数	学卒ジョブ ポーターの 支援によ る正社員 就職件数	ハローワークの 職業紹介 により正 社員に結 びついた フリーター等の 件数	公的職業 訓練終了 3ヵ月後 の就職件 数	正社員求 人数	正社員就 職件数	人材不足 分野の就 職件数	障害現役 支援窓口 での65歳 以上の就 職件数
実績	9,195	9,400	3,465	47.0%	49.1%	600	888	2,417	1,358	598	21,910	3,190	2,066	130
目標	9,093	9,671	4,284	44.5%	43.4%	652	731	2,783	1,064	659	21,697	3,247	2,364	223
目標達成率	98%	102%	123%	94%	88%	108%	82%	115%	78%	110%	99%	101%	114%	171%

※「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク沖縄 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

当所では、就職者数の目標達成を最重要事項と考え、求職者に対して、特に就職意欲の高い者及び雇用保険受給者に対して早期就職の実現を目的に①年齢（54歳以下、55歳以上）、②求職者の状況（雇用保険受給者・訓練希望者・県外就職希望者等）で相談窓口を分け、目的に沿ったきめ細やかな職業相談・支援メニューを提供できるように取り組むとともに、人手不足分野への意識・応募意欲喚起を目的に事業主及び業界団体と連携を図り業界別セミナー・事業所PRタイムの開催や求人情報提供等するなど応募職種の幅を広げるきっかけ作り及びマッチングに繋げるよう取り組みました。

また、就職氷河期世代の求職者及び55歳以上の求職者を対象とした各支援窓口を設置し、きめ細やかな職業相談・個別相談や就職支援セミナーを実施するとともに、関係機関と連携を図り早期就職をめざし取り組みました。

事業主に対しては、雇用管理の改善並びに正社員求人への転換を含めた雇用の「質」改善に係る働きかけ等の取り組みを行うとともに、積極的に取り組んだ事業所の求人を積極的に掲示するなどして充足に向けた取り組みを行いました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る目的で、ハローワーク基本業務の行う上で必要な各種労働法の基本研修を、労働基準監督署及び労働局職業安定部課室と連携し、全職員・相談員等に対して年4回実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

人手不足分野の事業所を中心に、直接、求職者へ事業所の特徴や求人内容について説明できる機会として「日替わりミニ説明会」を毎日開催した。特に、人材不足分野である介護・保育分野については、求人合同説明・面接会の開催を自治体と連携しながら、介護分野計4回、保育分野計2回実施した。また、障害者雇用強化を図るため、部門内でチーム編成し、障害者雇用を予定している事業所と求職登録している障害者の方々とのマッチングを目的に「ミニ求人説明会」を不定期に開催した。

その他、従業員が働きやすいように取組んでいる事業所と求職者のマッチングを図るため、「仕事と育児を両立しやすい求人」「土日休みの求人」「応募しやすくなった求人」、「働きやすさに取組んでいる事業所PR」、「60歳以上応募歓迎求人」、「シニア応援求人」など特集を変えながら掲示し、求職者へ周知を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークにおける求職者担当制や年齢や求職者の状況に応じた支援窓口体制、バランスシートなどを用いた職業相談などの支援メニューや就職活動に資する情報提供を効率的かつ確実に周知できるよう随時、職業安定所全体で検討を行いつつ、検討した結果を実行できるよう取り組んでいきます。

また、新型コロナウイルス感染等の不安から来所に躊躇する求職者に対しての電話による職業相談実施体制づくり、来所した求職者を確実に職業相談窓口へ誘導し充実した職業相談が実施できるような体制づくり・手法を当所全体（職員・相談員等）で検討を行いつつ、検討した結果を実行できるよう取り組んでいきます。

同時に、ハローワークで実施するセミナーやイベントなどでの新型コロナウイルスの感染防止対策の継続と来所者に対してソーシャルディスタンスの確保やマスクの着用など協力を得られるよう注意喚起を促していきます。

(4) その他業務運営についての分析等

来所者が減少傾向にあるため、求職登録した者へダイレクトメール・電話により来所勧奨・積極的な窓口相談を実施した。また、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発令後は電話による職業相談、職業紹介を働きかけるとともに、来所者に対しては、万全な感染防止対策を行いつつ、きめ細やかで丁寧な職業相談を柱とした支援メニューの積極的提案などを強化しました。

今後は、来所者に対しての不安を取り除きつつ、感染防止対策を取りながら、来所した求職者を確実に職業相談窓口へ誘導する体制や手法及び情報提供を検討する必要があると考え、安全で効果的な対応を実施できるよう取り組んでいきます。

その他に、新型コロナウイルスの影響を受けた事業主等の雇用に関する相談や助成金等の周知、求人開拓支援員を中心とした景気回復を見据えた求人・正社員求人確保及び事業所に対する雇用管理改善の提案による「良質」な求人の提案・確保について引き続き取り組むとともに、人手不足分野を中心とした業界別セミナー・事業所PR・ミニ面接会を積極的に開催する等、積極的かつ効果的なマッチングに繋げるよう取組みを強化していきます。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

新型コロナウイルスの影響等もあり、当所管内の雇用失業情勢は依然としてとても厳しい状況ですが、関係機関、管内自治体及び事業主団体等との連携による業界別セミナーやミニ面接会の開催等による積極的なマッチングに努めた結果、主要指標のすべて目標達成となりました。引き続き関係機関等との連携を強化して業務を推進していきます。なお、未達成となった「正社員就職件数」及び「障害者の就職件数」に対しては経済状況や求職者の状況等いろいろな角度から検証し、目標達成できるよう取組んでいきます。また、求職者ニーズの把握のために職業相談時に丁寧な聞き取りに努め、職業相談基本業務の徹底とマッチング技能の向上に努めます。

4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	求人者に対 する紹介率	求職者に対 する紹介率	生活保護 受給者等 の 就職件数	障害者の 就職件数	マザーズ HWIに おける 就職率	正社員 求人数	正社員 就職数	人材不足 分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 55歳以上の 就職件数
実績	6,761	5,706	2,848	43.3%	46.4%	357	697	96.6%	12,114	2,356	2,175	107
目標	6,410	5,260	2,476	48.0%	48.0%	249	745	92.7%	11,600	2,390	1,880	67
目標達成率	105%	108%	115%	90%	96%	143%	93%	104%	104%	98%	115%	159%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク名護 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標の目標達成を最重要と捉え、取り組んだ。特に就職件数、充足件数は毎朝の朝礼や月1回開催の全体会議の場において、職員・相談員に統括官から進捗について説明し、課題と状況分析の共有を図った。また、雇用保険受給者の早期再就職件数についての取組は、管理課との連携を重視し、認定日は相談部門での相談後に給付係での認定への流れを徹底させた。その結果、昨年度に引き続き、主要3指標の目標を達成できた。

さらに、以下の取組を重点的に実施した。

1. 正社員求人マッチング

求人担当者が前日受理の正社員求人を紹介担当者へ提供し、マッチングの期待できる有効求職者へ情報提供を実施した。

2. 求職票記載の充実

特に「希望する仕事」及び「経験した主な仕事内容」の充実を重視し、求職者から聴取する必要な項目が確認できるよう様式を別途作成。また、聴取した情報から求職者ニーズを反映した求人情報の提供ができるよう取り組んだ。

3. 「すぐに就職したい」求職者のマッチング

新規登録時や窓口相談時に就職希望時期を把握し、担当者制で就職支援に取り組んだ。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職員・相談員に対し、労働者派遣求人、業務請負求人の求人受理及び相談に適切に対応するための知識習得を目的に、労働局担当職員を講師とした研修を実施した。また、職員による職業紹介関係の研修、クレーム対応研修等を実施、職員の資質向上を図った。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所では、ロビーの求人掲示を正社員求人のみとし、現在の正社員求人件数を表示することにより、求職者へ正社員就職の意識付けをするとともに、求人者が同業他社の正社員求人と比較することで、求人条件の緩和や非正規から正社員求人へ変更となる契機となるよう視覚化を図った。さらに、これまでロビーに設置・配布していた求人情報一覧表を待合スペースに移動。これにより、総合案内が求職者へ、相談窓口への誘導を行うための声かけがやりやすくなった。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

雇用保険受給者の失業認定人数が曜日により偏りがみられ、それが顕著な日においては、駐車場の混雑はもとより、職業相談の充実の面で課題となっていたが、職業相談部門と雇用保険部門で検討・調整を行い、失業認定人数の平準化につながられた。従前と比べ、混雑状況が緩和され、落ち着いた雰囲気の中で職業相談が行われている。

(4) その他業務運営についての分析等

令和元年度は、令和2年1月からのシステム刷新により、利用者サービスの向上につなげつつ、全体的には求人者サービス、求職者サービスに係る取り組みは実施できた。さらにこれまでの取り組みを推進しつつ、人材確保分野の取り組みを拡充していく。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 特記事項

地域の雇用対策を推進する上で管轄の自治体との連携はとても重要であることから、ハローワーク求人コーナーの各自治体の庁舎内での掲示場所の確保、充実に向けて連携を図る。併せて、雇用情勢について情報交換を行い、自治体の要望も聴き取り、取り組む。

4 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護受給者等の 就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	2,266	1,952	637	49.6%	58.8%	52	2,379	694
目標	1,670	1,450	614	51.6%	60.8%	42	2,080	585
目標達成率	135%	134%	103%	96%	96%	123%	114%	118%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク宮古 就職支援業務報告（令和元年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、主要3指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）の目標達成を最重要と考え、以下の取組を実施しました。

就職件数については、求職登録者の取り込みを行うため、市役所、生涯現役促進協議会及び宮古島地域雇用創造協議会等に求人情報を提供し、関係機関との連携や各種イベントを通してハローワークの求人情報や支援内容をアピールしました。又、相談窓口の活性化を図るため、来所者端末利用者に対する窓口利用勧奨、求人情報提供後、来所のない求職者や不採用後に来所のない求職者へ来所勧奨に取り組みました。

充足件数については、求職者視点を持って求職者に分かり易く、応募しやすい求人作成、事業所画像情報や求人の付加情報の充実を行い、求人充足会議においては、対象求職者を選定し、その求職者に対し正社員求人を中心に情報提供及び応募勧奨に取り組みました。

雇用保険受給者の早期再就職件数については、担当者制の個別支援を行い早期再就職につなげ、認定日全員相談、給付制限受給者に対する応当日相談を行いました。又、管理課と連携し、受給者の相談窓口への誘導と併せ早期再就職を意識した求人情報提供、応募勧奨、正社員求人を中心としたミニ事業所説明会を実施しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、局が主催するキャリアコンサルティング研修に若手職員3人の送り出しを行い、職業相談スキルや求人者サービスを向上させる観点から、職業相談部門職員・相談員に対して、管内雇用失業情勢、助成金制度、障害者支援に係る研修を実施、また、労働基準監督署と連携し、労基法の習得を目的とした研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

60歳以上の方も積極的に採用する事業所の求人を「シニア応援求人」とネーミングし、専用コーナーを設置、色紙に印字し掲示することで他事業所求人との差別化を図り、求職者の目に留まりやすい工夫を行いました。又、当該求人に係るオリジナルリーフレットを作成し、当該取組を可視化することで事業主及び求職者にわかりやすい案内を実施しました。他に、雇用保険受給者に対し、事業所の情報を知ってもらうため、「ミニ事業所説明会」を実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、求職者数が増加し、求人数が減少する状況が続いています。事業主においては雇用の維持に努めるよう雇用調整助成金活用を促し、当該感染症が落ち着いた後には求人開拓により求人数増加を図り、求職者ニーズに合った求人の確保、高齢者や介護・育児等に従事者などの幅広い人材確保について理解を求め、早期の求人充足を意識した求人者サービスに取り組みます。求職者に対しては求職者ニーズを十分に把握するも、場合によっては求職条件緩和を促すことで早期再就職促進に取り組みます。具体的には求人情報の提供を積極的に行い、幅広い職種への応募を促すなど、求人者と求職者に対する更なる能動的マッチングに取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

宮古島市との雇用対策協定を中心に、管内関係機関との連携を図り、新規学卒、生保事業、障害者、高齢者等の雇用対策に取り組むことで目標の多くを達成することができました。今後も雇用対策協定に基づき地方自治体と連携し、経済団体や事業主に対する求人要請、雇用管理改善を実施することで、地域住民への就職支援と管内事業主への充足支援に取り組みます。

2 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する紹介 率	⑤公的職業訓練修了 3か月後の就職件数	⑦正社員求人数(必 須指標)	⑧正社員就職件数 (必須指標)
実績	1,600	1,525	319	41.9%	65.4%	42	2,113	385
目標	1,110	1,150	277	44.8%	67.3%	30	2,120	320
目標達成率	144%	132%	115%	93%	97%	140%	99%	120%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

ハローワーク八重山 就職支援業務報告（令和元年度）

1. 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

①各指標に対する取組

- ・当所では、良質求人確保を最重要課題と捉え、求人者に対し人手不足である管内状況の説明とあわせ助成金制度の活用、ユースエール認定制度のメリット等の周知を行いながら良質求人の提出をしてもらうよう取り組みました。
- ・八重山地方の観光が好調であるため有効求人倍率が上昇し人手不足が顕著になっています。そのため、求人者と求職者のマッチングの場を提供する企業説明会&面接会を年間11回開催しました。企業内施設を見学できる面接会や離島ターミナルでの開催など工夫をこらして開催しました。

②中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・当所では、職員及び相談員の質的向上として、随時、法改正に即座に対応できるよう研修を行っています。また、職業紹介部門では週1回ミーティングを行い、総合評価の数値目標達成状況の確認や取組課題の検討を行っています。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・庁舎外看板や市役所入口、私立図書館に求人情報誌を配置して、土日でも求人情報誌を見ることができるようになりました。
- ・求人者からの要望もあったので、人手不足を解消する取組として月1回ペースで企業説明会を開催しました。毎回、求職者の参加も多く、求人者・求職者のアンケートからも好意的な意見が多くありました。
- ・求職者からのご意見等をミーティングにおいて共有し、電話対応や接客対応などの改善に努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・庁舎内が狭く老朽化しているため、利用者が気持ちよく利用できるよう庁舎内の整備を行いたい。また、電話対応や接客対応などの接遇研修を行い、サービス改善に努めます。
- ・どの業種においても人手不足が顕著であるため、求人者サービスとして、多くの企業説明会を開催します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・平成30年度に石垣市と雇用対策協定を締結しました。令和元年度は石垣市の重要課題である保育士確保を目的とした「保育のお仕事説明会」を共催するなど連携した雇用対策の取組ができました。次年度も地方自治体のニーズに合わせ連携した取組を実施します。

2. 総合評価 (※)

非常に良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3. マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	障害者の 就職件数	正社員求人数	正社員就職件数
実績	1,301	1,205	345	44.2%	61.4%	70	1,804	304
目標	771	840	287	44.5%	56.1%	84	1,610	320
目標達成率	168%	143%	120%	99%	109%	83%	112%	95%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

令和元年度主要指標の目標及び結果一覧

	指標	全所必須指標		
		主要指標		
	項目	就職件数 (常用)	充足件数 (常用、受理地ベース)	雇用保険受給者の早期 再就職件数
沖縄局	目標	19,156	18,100	7,119
	実績	21,021	20,059	8,441
	達成率	110%	111%	119%
那覇所	目標	9,195	9,400	3,465
	実績	9,093	9,671	4,284
	達成率	99%	103%	124%
沖縄所	目標	6,410	5,260	2,476
	実績	6,761	5,706	2,848
	達成率	105%	108%	115%
名護所	目標	1,670	1,450	614
	実績	2,266	1,952	637
	達成率	136%	135%	104%
宮古所	目標	1,110	1,150	277
	実績	1,600	1,525	319
	達成率	144%	133%	115%
八重山所	目標	771	840	287
	実績	1,301	1,205	345
	達成率	169%	143%	120%